報道関係各位
2026 年 11 月 18 日
株式会社 横浜赤レンガ

横浜赤レンガ倉庫
YOKOHAMA RED BRICK WAREHOUSE

笑う、サステナブル
WARAU SUSTAINABLE

昭和レトロな横浜の鍋フェス！各地自慢のご当地鍋三昧、旨い日本酒ではしご酒！

『酒処 鍋小屋 2027 supported by ダイショー』が横浜赤レンガ倉庫にて 1 月 16 日（土）より開催！

18 種類のご当地鍋と 100 種類超の日本酒が集結！今年も「全国鍋総選挙」を開催！
昭和の街にタイムスリップ「赤煉瓦商店街」が初登場！こたつで熱々鍋を囲むエリアも

横浜赤レンガ倉庫では、2027 年 1 月 16 日（土）～1 月 31 日（日）の計 16 日間、横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて『酒処 鍋小屋 2027 supported by ダイショー』を開催します。



『酒処 鍋小屋 2027』キービジュアル

『酒処 鍋小屋』は、横浜赤レンガ倉庫と海が見える開放的な空間で鍋を囲み、お客様同士の交友を深めていただきたい、という想いから生まれた冬のフードフェスティバルで、2016 年に初開催し、今回で 11 回目の開催となります。全国各地から 18 種類のご当地鍋と 100 種類以上の日本酒が集結し、前回は約 24 万人※1の老若男女あらゆる世代の方に来場いただきました。
※1 横浜赤レンガ倉庫 1・2 号館来館者数より算出

今年も、**“おうちでも食べたいご当地鍋”を来場者投票で決める「全国鍋総選挙」を開催**。前回のグランプリ鍋が実際に商品化された注目の企画です。また、**例年大好評の「ちょい鍋・ちょい呑みチケット」**には、**日本酒の「おかわりチケット」が初登場**。また、ピンボールや射的など懐かしの遊技や駄菓子、レトロ雑貨などを楽しめる**新エリア「赤煉瓦商店街」**や、**こたつで熱々の鍋を囲む「作る鍋エリア」**も展開します。横浜出身のイラストレーター・五月女ケイ子氏が本イベントのために描き下ろしたキービジュアルをはじめ、昭和レトロな懐かしさと日本らしい趣、思わず笑みがこぼれる遊び心を散りばめた演出も見どころです。

昭和レトロな商店街をそぞろ歩き、メイン会場に一歩足を踏み入れれば、立ち上る湯気と出汁の香りが食欲をそそります。熱々のご当地鍋を頬張り、こだわりの日本酒を片手に家族や仲間と語らえば、心も身体もじんわり温まる。日本の冬ならではの幸せを堪能できるイベントです。


会場イメージ

＜注目コンテンツ＞

■18 種類のご当地鍋を食べ比べて、“推し鍋”を探そう！「全国鍋総選挙」も開催

本イベントでは、「きりたんぽ鍋」や「芋煮鍋」、「てっちり鍋」、「もつ鍋」など、全国各地の特色豊かな**“ご当地鍋”を一杯サイズで食べ比べ**いただけます。さらに、地元・横浜からは、**創業 113 年を誇る老舗鶏肉専門店「梅や」が今年初出店。**

地域ごとに異なる食材や味付けを楽しみながら、自分だけのお気に入りの“推し鍋”を見つけてみてはいかがでしょうか。お気に入りのご当地鍋と、相性抜群の日本酒を味わう、冬ならではの食の醍醐味をご堪能いただけます。

【全国鍋総選挙】

横浜赤レンガ倉庫の地域活性化につながるサステナビリティ活動「RedBrick Hub」の一環として、今回も**来場者の投票で“おうちでも食べたいご当地鍋”を決定する「ダイショー Presents 第 2 回全国鍋総選挙」を開催**します。グランプリに選ばれた鍋は、鍋スープでお馴染みの株式会社ダイショーにより商品化予定です。前回のグランプリに輝いた「自然薯とろろ鍋」は今年 8 月に商品化され、全国で販売中。ご家庭でもお楽しみいただけます。今回はどんなご当地鍋が選ばれるのか、ぜひご注目ください。



前回のグランプリを商品化した
「山芋を加えて作る とろろ鍋スープ」

■好評につき「おかわりチケット」も！鍋三昧ではしご酒！「ちょい鍋・ちょい呑みチケット」が登場

例年大人気で連日売り切れ必至の「ちょい鍋・ちょい呑みチケット」が今年も登場。対象メニューの中から、「ちょい鍋チケット」では食べ比べしやすいミニサイズの鍋を 3 種、「ちょい呑みチケット」では記念にお持ち帰りいただける**オリジナルお猪口**で、厳選された 30 種類以上の日本酒から 3 杯選んでお楽しみいただけます。

さらに、今年は新たに「おかわりチケット」も登場。「ちょい呑みチケット」購入者が**500 円で日本酒を 1 杯追加**できる、3 杯では飲み足りない方に嬉しいチケットです。全国各地のご当地鍋や日本酒を食べ比べ・飲み比べながら、お気に入りの味を見つける楽しみが広がります。


オリジナルお猪口 イメージ

＜会場の見どころ＞

■初登場！懐かしさあふれる昭和のまちを再現した「赤煉瓦商店街」

今年初登場となる「赤煉瓦商店街」は、横浜赤レンガ倉庫の入口からメイン会場となる大型テントまでの道のりを、**昭和レトロな商店街に見立てた新エリア**です。**ピンボールや射的などを楽しめる遊技場やカプセルトイ、駄菓子、レトロ雑貨コーナー**など、思わず立ち寄りたくなるスポットが盛りだくさん。昭和のにぎやかな商店街を歩くように、あちこち寄り道していくうちに、商店街を抜けた先に広がるメイン会場への期待も高まります。**昭和を知る人には懐かしく、知らない人には新鮮**な、『酒処 鍋小屋』ならではの昭和レトロな世界をお楽しみいただけます。


赤煉瓦商店街 イメージ

■これぞ日本の冬の幸せ！家族と、仲間と、こたつで熱々の鍋を囲む「作る鍋エリア」

畳の小上がりに、日本の冬の風物詩“こたつ”を設えた「作る鍋エリア」が今年も登場。みんなでこたつに入って和気あいあいと鍋を作り、できたての鍋を味わうことができます。

こたつのぬくもりと、湯気が立ち上る鍋の温かさが身に染みる冬。家族や仲間と肩を寄せ合い、旨みたっぷりの鍋を味わう、日本の冬ならではの幸せを体感できるエリアです。


作る鍋エリア イメージ

＜開催概要＞

・期　　間：2027 年 1 月 16 日（土）～1 月 31 日（日）　計 16 日間 ※雨天決行、荒天時は休業することがあります。
・会　　場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場（〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 1-1）
・営業時間：平日　12:00～21:00（L.O. 20:30）
　　土日　11:00～21:00（L.O. 20:30）
・入 場 料：無料 ※飲食・物販代等は別途
・主　　催：横浜赤レンガ倉庫（株式会社横浜赤レンガ・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
・特別協賛：株式会社ダイショー
・後　　援：横浜市
・特設サイト：https://www.yokohama-akarenga.jp/event/nabe-goya

＜SDGs への取り組み＞

『酒処 鍋小屋 2027 supported by ダイショー』では、SDGs への取り組みを積極的に行なっています。

◎プラスチック製品の削減：
会場内の全店舗で環境に配慮した食器や包装材を使用し、プラスチック削減に取り組みます。

サステナビリティコンセプト ロゴ

◎Fry to Fly Project：
国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に協力。
イベントで出た廃食用油を持続可能な航空燃料製造に提供。従来の航空燃料に比べ、CO2 排出量を約 80%削減できます。

◎再生可能エネルギーの地産地消：
脱炭素化の実現に向けた再エネ普及拡大の一環として、横浜市内の家庭に設置されている太陽光発電設備の余剰電力（卒 FIT）を活用した取り組みを推進。イベントを含む、横浜赤レンガ倉庫で使用する電力の約 2 割相当を賄い、年間約 440 トンの CO2 排出量を削減できる見込みです。

◎「RedBrick Hub」：
横浜赤レンガ倉庫が中心となって、そこに集う様々な人びとと”+α”を生み出すプロジェクト『RedBrick Hub』。
本イベントでは、イベント来場者の投票による「全国鍋総選挙」を通して、鍋スープでお馴染みの「ダイショー」とイベント出店社をつなぐ場をご提供します。

※【注意】本リリースに記載されている内容は、変更となる可能性がございます。12 月中旬頃に詳細を発表予定です。
※画像はイメージです。一部、過去のイベントの様子が分かる画像を使用しています。※価格は全て税込みです。

＜本件に関する一般向けのお問い合わせ先＞
横浜赤レンガ倉庫 2 号館インフォメーション 電話：045-227-2002㈹ ※受付時間：11：00～20：00